

Progress of Shintake Monitor

KEK site meeting 2008/9/17

Takashi Yamanaka

新竹モニタ定盤のインストール

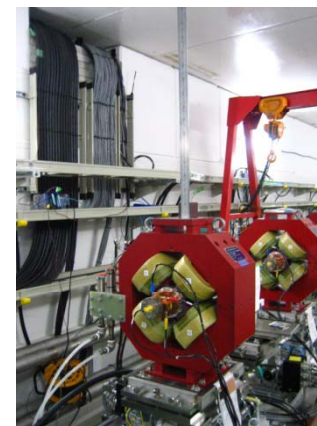
- 床の高さ測定
- シムの厚さ調整
- タイバーの取り外し

レベル測定器の高さ測定

- ビームラインからの高さがアライメントしてある、Q-Magnetの上で較正
- Q-Magnet上の高さは、
ビームライン+285mm+dY
- オートレベルのスケールには、オフセットがあるので、目測で較正



オートレベルでの測定

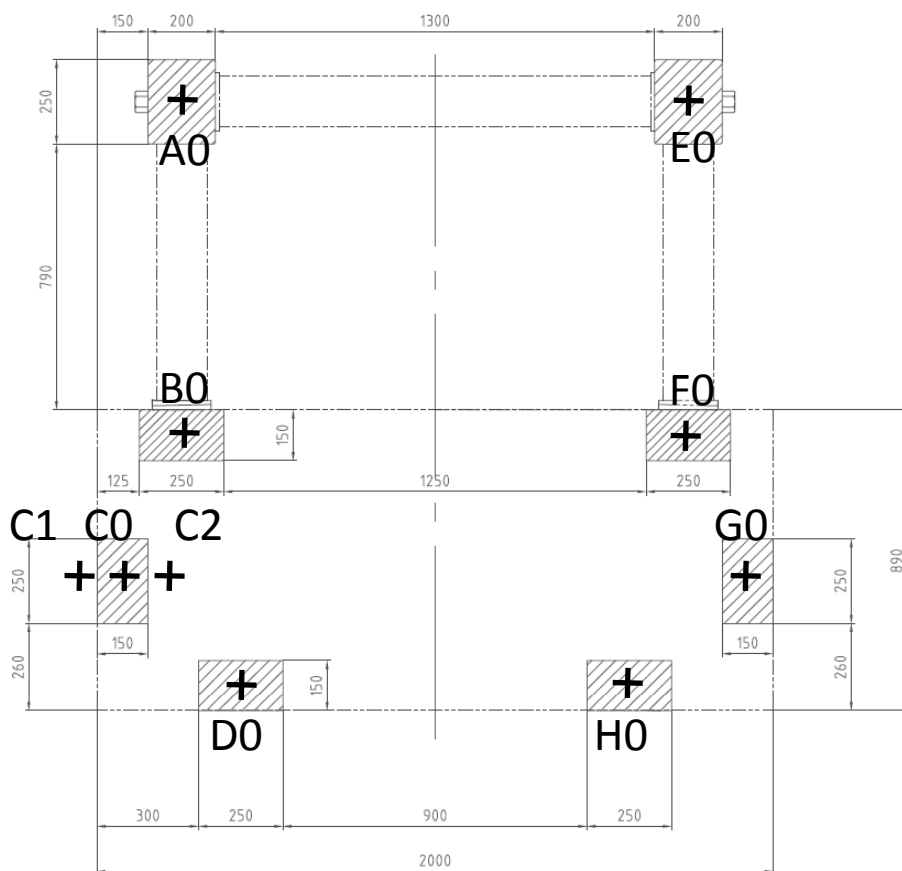


スケールでの目測

位置	自動測定(mm)	目測(mm)	差(mm)	R(m)	dY(mm)	高さ (自動) (mm)	高さ (目測) (mm)
QD4AFF	73.61	77.20	3.59	6.9	0.02	362.120	362.220
QD4BFF	73.74	77.30	3.56	8	-0.16	362.070	362.140
QF5AFF	74.00	77.45	3.45	9.33	-0.30	362.190	362.150
QF5BFF	73.89	77.25	3.36	10.44	-0.09	362.290	362.160
平均			3.49			362.17	362.17
標準偏差			0.106			0.095	0.036

床の高さ測定

水平架台下面支持位置



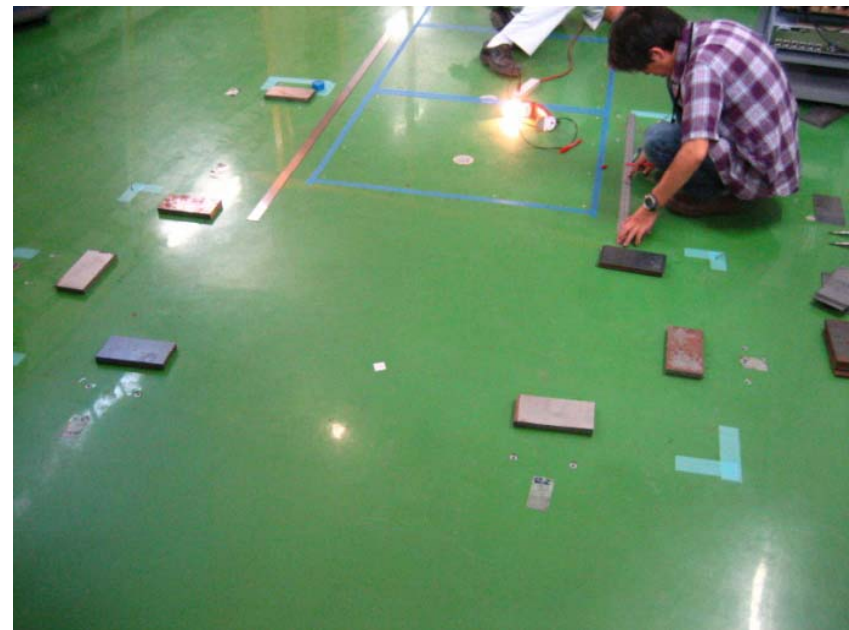
	高さ(床) (mm)	シム厚 (mm)
A0	1578.03	20.86
B0	1577.47	20.30
C1	1578.26	21.09
C2	1578.98	21.81
D0	1579.09	21.92
E0	1580.84	23.67
F0	1579.06	21.89
G0	1576.30	19.13
H0	1576.81	19.64

- C0は、障害物があり測定できなかったなので、まわりを測定
- 新竹定盤の高さ、1195mmを使ってシム厚を計算

シムを置いての設置作業

- 床の高さから計算したシムを床に並べ、その上に定盤を設置
- シムの厚みを微調して定盤の底面が全て接地するようにした

	実際のシム厚(mm)
A0	20.7
B0	19.6
C0	21.8
D0	22.0
E0	24.5
F0	22.3
G0	19.1
H0	19.7



その他

- その後、アンカープレート
固定
- 着脱式タイバーの取り外し



今の状態

